

# きずな

豊かな高齢化社会の実現と社会貢献をめざして

Vol.015  
2016.  
7.15



## 15号の主な内容

平成二十八年度定時総会	2
センター運営の要～総務部会	3
企業訪問（つくば双愛病院）	4
女性部会	5
筑波研究学園都市探訪 気象研究所	6
剪定講習会	7
ご案内	8

## 平成二十八年年度定時総会開催

公益社団法人つくば市シルバー人材センターの平成二十八年年度定時総会が、本年六月二十四日午前十時市内の〈市民ホールとよさと〉で開催されました。

〈総会〉来賓の市原健一つくば市長および塩田尚つくば市市議会議長からご挨拶を賜わり、ついで来賓として安田宏巳つくば市福祉部次長、松浦智恵子つくば市高齢福祉課長のご紹介がありました。

〈議事進行〉平成二十七年事業報告、平成二十八年事業計画の報告、平成二十八年度収支予算の報告が行われました。つぎに承認事項として、平成二十七年年度収支決算報告と監査報告、役員報酬の規程改正があり、議決事項では理事および監事候補者の選任があり、いずれも承認されました。

〈平成二十七年事業報告〉総事業実績三億二千五百万円（前年度比102.2%）、受注先別金額は公共事業七千三百万円（104.6%）、民間事業所一億六千万円（103.5%）、一般家庭八千五百万円（95.9%）、独自事業（リサイクル自転車・子育て支援

一時預かり）七百万円（139%）。総契約件数は、五〇五八件（前年より二十一増）。職種別契約件数では、技術・技能一九〇二件、事務・管理二五〇件、一般作業二三八四件、折衝外交・サービス五二二件。主な課題には、就業開拓や会員拡大などが挙げられました。



定時総会の会場

## 〈市原健一つくば市長の ご挨拶〉



平成二十八年度つくば市シルバー人材センター定時総会の開催、おめでとうございます。

日本は世界一の長寿国と言われますが、注目すべきことは健康寿命をいかに延ばすかが重要なことになってきます。病気になるれば、病気の治療や入院、介護など医療行政がかかわってくる話になります。健康づくりが大切なこととなります。つくば市では、健康づくりの政策「健康長寿日本一」をめぐって、元気で生きがいのある生活を作っていくたいものです。

日本の少子高齢化にともない、今後は介護が大きな問題となります。その場合、介護の労働力を確保することが必要となります。皆様のお力添えをいただながら、少子高齢化に役立てていただけるように、これから行政も協力して、いっしょに進めていければと思います。

（注）本文中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

## 〈橋本憲明理事長のご挨拶〉

まず、平成二十八年熊本地震で亡くなられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に、お見舞い申し上げます。

理事長に就任して約八ヶ月の間、様々な案件に取り組んできた中、今年度の事業運営では、五つの目標を掲げました。一、公益法人として法令遵守の下で、収支相償を目標に、経営の健全化に注力する。二、役員と職員間で緊密な協力関係を築き、センター運営に重要な意識向上をはかる。三、会員増強、後継者の育成と就業場所の拡大に努力する。四、中長期事業計画の推進とその検証により、高齢者の社会環境作りに協力する。五、安全かつ安心な就業環境作り。

本日はお忙しい中、ご出席を賜りましたみなさま、まことにありがとうございますございました。

2016年熊本地震で亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を捧げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

## センター運営の要々総務部会

センターで活動中の各部門について、前号の事務局につづき、今回紹介するのが総務部会です。5月末現在、部会構成員は、理事二人、会員七名。

総務部会の役割と課題について、広報部会の記者が五月十九日金子総務部会長・理事にお話をうかがいました。同部会の主な役割とは、経営の健全化、規定類の見直し、研修・講習会の開催、中長期計画の推進などにあり、それぞれに対応して各セッションが開かれて、討議されているとのこと。また課題として、事務局の体制強化と指示命令系統の円滑化、部会と理事会間における問題認識の共通化、理事会の責務の徹底、幅広い部会員の人材募集などが挙げられました。かねてからの懸案でもあり、センターの運営にとって、



総務部会会議

重要な案件ばかりです。紙数が限られているので、詳細を紹介することはできませんが、記者は、ぜひ総務部会が強力なリーダーシップをとって、センターの運営改善と発展を推進していただきたいと思いました。

因みに一般企業の総務部とは、会社全体の事務管理をつかさどり、強力な権限を有する部門といわれます。

## 平成二十八年度新役員

理事	橋本憲明	(留任)
副理事長	梅田三郎	(留任)
理事	青木亨	(新任)
理事	岩田光夫	(新任)
理事	宇都宮章	(新任)
理事	大久保勝弘	(留任)
理事	金子和雄	(留任)
理事	黒澤弘志	(留任)
理事	高野島子	(留任)
理事	福田征男	(留任)
理事	藤田美代子	(新任)
理事	皆見邦子	(留任)
理事	山内衛	(留任)
理事	中山肇	(新任)
理事	中島肇	(新任)
監事	遠藤忠	(新任)
監事	遠藤忠	(新任)

(理事名はアイウエオ順)

## 〈企業訪問〉 つくば双愛病院

### 地域医療の要

高齢者人口の数が増えるにつれて、医療、介護、健診などの医療サービスが充実が切実な問題となっています。この問題に対応しうる地域の医療サービス機関の一つとして、医療法人社団双愛会つくば双愛病院があります。平成三年開院、つくば市内の南西に位置し、まわりを高崎自然の森に囲まれている、落ち着いた自然環境豊かなところ



双愛病院の全景



リハビリテーション室



訪問看護ステーション「くきぎき」内で、スタッフが打ち合わせ中



介護老人保健施設「ひまわり」で食事介助中の「センター」会員高野さん（左）

ろにあります。なお、同病院は「センター」の会員四名が就業しているところでもありません。

今回の取材でお世話になったのは、神立事務長、岡野総務課長、木村地域医療連携室係長ほかのみなさんでした。同病院では治療から介護まで全て一箇所の施設内で連携して行えることが特徴で、将来は旧荃崎地区における医療・介護サービスの要となるような存在が目標だそうです。開院当初は循環器系が中心でしたが、その後は高齢化時代にあわせ、筑波大学、メデイカ

ルセンターの後方病院として、患者を受け入れていきます。

施設は、病床数254床（介護老人保健施設78床も含む）、入院施設（一般・療養・一般障害者病棟）、外来ともに、充実した医療設備、入院、診療体制を有していますが、つくば市とは医療と介護面で支援連携も果たしており、健康管理センターでは健康診断や人間ドックなどを行っています。

リハビリ・介護について。病院内にある「通所リハビリテーション」雅（みやび）は、要介護認定の方が対象で、



上の二枚とも保育施設「ちびっこルーム」。看護スタッフの子どもたちを24時間預かります

広いスペースには、若いスタッフのみなさんがハツラツとして活動されておられました。茨城県立医療大学やつくば国際大学などの学生さんが、理学療法の実習を行う場所でもあります。介護老人保健施設というのが、病院の四階にある「ひまわり」です。ここは療養病床から転換した施設で、要介護一〜五の認定を受けた方が入所します。機能訓練やレクリエーション、日常生活のお世話を通して、一日でも早くご家庭に戻れるように支援することで、ショートステイも可能とのこと

です。付属施設として、病院の職員の子どもさんたちを預かる、保育施設「ちびっこルーム」があり、賑やかな子どもたちの声が、楽しい雰囲気を醸し出していました。病院直結となれば、お母さんたちも安心でしょう。ほかにいろいろな機能を持った施設、サービス部門を拝見し、いずれも充実した内容に大きな感銘を受けました。地域に根づいた安心医療の施設として、これからもますます発展されることをお祈り申しあげます。

<案内>

〒300-1245 茨城県つくば市高崎 1008  
 Tel 029-873-2511 Fax 029-872-3820  
<http://www.tsukuba-soai.com/>  
 アクセス：(電車) 常磐線牛久駅(無料送迎バスあり) またはつくばエクスプレスみどりの駅から関鉄バス、(車) 圏央道牛久IC または常磐自動車道谷田部IC から 10分

女性部会

あるボランティア活動

女性部会会員は、月二回、谷田部老人福祉センターに集まって、女性らしい手芸品の制作活動を行っています。梅雨空のある日、部会員が集まってせつと作っていたのは、来春、小学校に入学する新一年生に、無償で寄付する巾着給食袋。当面は大穂地区の小学校が対象のボランティア活動です。材料費の一部はつくば市シルバー人材センターが支援しますが、端物や小物類、ミシンなどは、会員の持ち寄りです。このほかに、つくばまつりで頒布する手工芸品なども制作する予定とか。このようにシルバード世代の女性らしい楽しい活動に、ご関心をおもちの女性会員は、ぜひいっしょに制作活動に加わってみませんか。



## 〈筑波研究学園都市探訪〉 気象研究所 「予測・技術開発の研究」

今年四月、マグニチュード七級の「二〇一六年熊本地震」の発生など、近年は気象情報や防災情報が、人々の生命や生活に、きわめて重要な問題となってきました。そこで今年五月、気象庁気象研究所を取材で訪れ、企画室岡部研究評価官と小野評価係長からお話を伺いました。五月中旬は、「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」が開催されるため、同研究所ではその対応などで、忙しい最中でしたが、快く応対して下



気象研究所の全景



気象研究所本館屋上の二重偏波ドップラーレーダー (気象研究所提供)

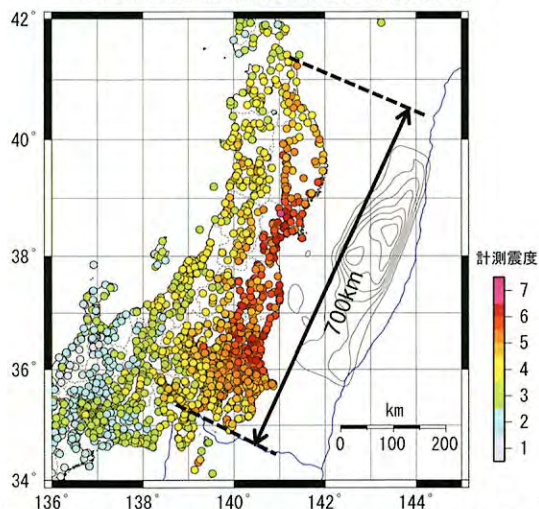


気象研究所構内に設置されたフェーズドアレイレーダー (気象研究所提供)

さいました。

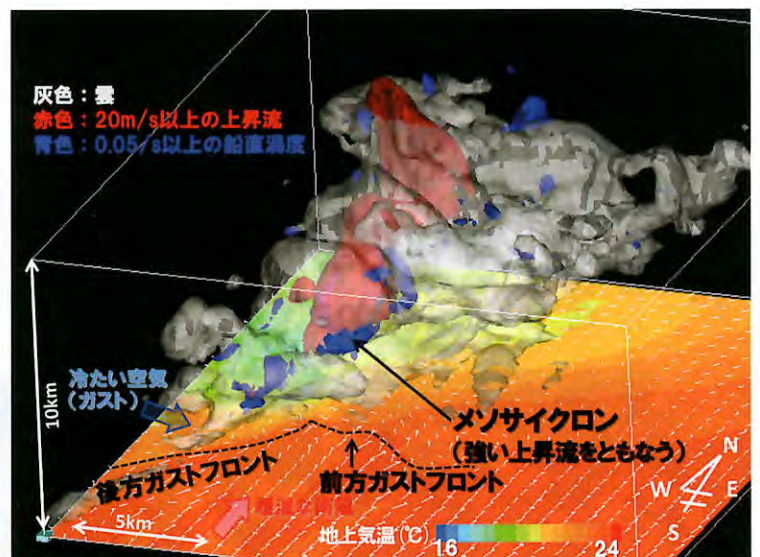
気象庁は、気候変動、地球環境の監視や、防災気象情報の発表などの幅広い業務を行っており、同研究所は気象庁の施設等機関として、気象庁が発表する気象や地震火山、気候などの各種研究情報の改善に向けた研究を行っています。国内外の各機関と連携し、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による評価報告書の作成などの国際的な活動にも参加しています。研究所の業務では、とくに安全・安心な生活に向け実施すべき研究を「重点研究」(台風・集中豪雨等、地震・火山・津波対策、気候変動・地球環境

巨大地震の実態を即時的に把握するための研究



地震直後に把握可能な震度分布から、地震の規模や震源域を推定する手法の開発にも取り組んでいます。

(気象研究所提供)



台風・集中豪雨などの対策の強化に関する研究の一つ、竜巻の高解像度シミュレーション (気象研究所提供)



スーパーコンピュータシステム（使用目的は数値シミュレーション）



エーロゾルの研究に欠かせない電子顕微鏡

<案内>

住所：

〒305-0052 茨城県つくば市長峰 1-1

TEL：029-853-8552

FAX：029-853-8549

<http://www.mri-jma.go.jp>

交通アクセス：（つくばエクスプレス）

つくば駅または（JR 常磐線）ひたち野うしく駅から路線バスで気象研究所バス停。車で常磐自動車道桜土浦 I.C. または圏央道つくば牛久 I.C. から 10 分。

の対策強化に関する研究）として、また、気象学の発展や将来を見据えた基礎・基盤的な研究を、「一般研究」として実施しています。このために、予報、気候、台風、環境・応用気象、気象衛星・観測システム、地震津波、火山、海洋・地球化学の八つの研究部で、各分野をカバーしています。

数値シミュレーションのために、本館には計算能力 1.268 Pフロップス（1秒間に1268兆回の計算が可能）を有する富士通製スーパーコンピュータが設置されており、将来の予測や過去の再現実験を行うためには不可欠な装置です。

研究所構内には二種類の最新型レーダー（フェーズドアレイレーダー、二重偏波ドップラーレーダー）が整備され、局地的大雨、集中豪雨や竜巻などの突風のメカニズム解明に威力を発揮しています。

気象研究所では、団体（5〜40名）で事前予約することで簡単な施設見学（スーパーコンピュータなど）と研究紹介といった内容の見学を受け付けています。その他の研究所内施設は原則に一般公開を行っていませんが、科学技術週間の一般公開時やお天気フェア（市の企画による「ちびっこ博士」にも参加）などの際には、公開されます。

〈草刈・剪定班がゆく〉

平成28年度剪定講習会

恒例の剪定講習会が、五月二十三日から二十五日にかけて、市内池の台にある「畜産草地研究所」のご好意により、同研究所の構内の植え込みにある黒松で行われました。今回は講師陣・受講生、総勢六十二名の参加です。剪定作業は、「三脚」や「木」に直接登るといって高所作業になります。講習会では、剪定を行うときに当センターが独自に定めている「安全作業基準」に従い、一歩間違えると取り返しのつかない重篤なケガや事故をふせぐため



毎朝、点呼、訓話後に必ず行う体操。体を慣らし、事故防止には欠かせません



いつも明るく元気に“老人たち”を引っ張る、草刈・剪定班担当の紅一点、センター職員の水田さん



この八月で九十歳になりますが、現役バリバリで活躍中、講師でもある佐藤さん

に、「安全」が基本中の基本であることをしっかりと学ぶのです。お客様からの信頼が厚い草刈や剪定の仕事が増えつつあります。これらの仕事に関心をお持ちの会員は、事務局へお問い合わせください。

## 〈ご案内〉

平成二十八年度入会説明会および面接は次の通りで行います。入会をご希望の方は、直接説明会会場へお越しください。お問い合わせは、電話で受け付けております。

\* 電話：029-879-5199

\* HP：http://www.

tsukuba-sc.com

## 〈はてさて?〉

シルバーの講習会場などによく利用される市内のある交流センターの視聴覚室。ここに「開かずのトビラ」が存在します? 普通はドアのノブを一旦回して開けようと思いますが、ここでは押しても引いても開きません。会場の皆さんはパニックになり、必



開催月日	時間	会場
7月14日(木)	午後1時30分	シルバー人材センター 会議室 (大穂庁舎3階会議室)
8月12日(金)	午後1時30分	
9月8日(木)	午後1時30分	

死になって開けようとしませんが、絶対に開かない。見ると、すぐ横の張り紙に「ドア・レバーは「横」にしたままで」

## 〈ちかごろ思うこと〉

不羈奔放にやってくるのが、天災地変。しかし人間の世界では争いごとが絶えない。唐代の詩人白楽天が「酒に對す」で、もつと気楽にという。「蝸牛角上、何事をか争う、石火光中にこの身を寄す。富に随い貧に随って且つ歡樂せん、口を開きて笑はざるはこれ痴人」(つまりらぬ争いは止めよう。人世は短い。あるがままに、アハハと笑って楽しもうではないか) (山内)

### ◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしております。些少ではあります執筆謝礼をご用意いたします。